



できごと

県立中央図書館の1階には子ども図書研究室があります。県内の子どもの読書活動推進のため、「子どもと本を結ぶ活動」に関わる大人の方々を支援することを目的としています。研究用・保存用として多くの子どもの本や参考図書を収集していますが、特に、平成15年度以降は、出版されている子どもの本のほとんどすべてを収集しているのが特徴です。

「でも、どう使ったらよいか分からなくて……」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は、実際に子ども図書研究室を利用されている皆さんにインタビューして、どのような利用の仕方をされているのかを伺ってみました。詳細は裏面をご覧ください。

◇子ども図書研究室のテーマ展示◇ ただいま展示中です！

- ◆災害の本—東日本大震災に寄せて—
- ◆講演会「子どもと昔話」関連資料
- ◆新着図書も展示中です。

◇イベント情報◇

◆日本昔話学会 2011 年度大会

- 日時：7月2日（土）13時～3日（日）17時
会場：静岡文化芸術大学（浜松市中区中央2-1-1）
プログラムのご紹介（一部）
○公開講演会「昔話の力・声の力～今、子どもに語りかけることの意義～」(辰巳なお子氏)
：7月2日（土）16：10～17：00
○昔話のタベ：7月2日（土）17：20～18：20
*申込不要、参加費無料
*詳細は、県内図書館などで配布のチラシをご覧ください。ただか、日本昔話学会事務局（TEL/FAX：053-457-6155）へ。

新着資料から

知識 『水と地球の研究ノート1



町の中の泉』

武田晋一／写真・文
ボコヤマクリタ／構成・絵
偕成社
2011年3月

カメラマンのタケシンは、町の中にある泉を紹介される。ふつうの池に見えたのだが、撮影するうちに泉に住む生物や成り立ちなどに興味を覚え、図書館や博物館で調べ始める。

タケシンが興味のままに、泉の成り立ちから火山、植物の光合成、動物の呼吸、と知識を広げる様子は読み手にも自然に受け入れられる。

静岡県にも富士山があり、柿田川を始めとして、多くの泉がある。掲載地は県外だが、「郷土を知る」「泉や川を知る」といった調べ学習の手助けになる1冊。【小学校中学年から】（青山）

物語

『UFOはまだこない』



石川宏千花／著
講談社
2011年1月

相対的な強者・弱者を意識するようになった少年たちが、弱いものをいじめる大人や同級生に対して「強い」自分たちの力を使って居心地の悪さを解消しようとする物語。

自分たちだけで何とかしようとする幼さに、読む「大人」ははらはらするが、ささいな言葉から瞬時に心の中を読み取る繊細さには逆に感覚の瑞々しさを覚える。ハッピーエンドの物語ではないが、描かれる中高生の気質と彼らが置かれている社会状況の描写に作者の確かな力を感じ取ることができる。【小学校高学年から】（杉田）

子ども図書研究室の使い方 利用者の声

直接子ども図書研究室に来室して利用されている方の声をご紹介します。

「保育園で働いています。絵本の読み聞かせのときに使う本を選ぶのに利用しています。たくさん本があるので、子どもたちがどんなふうに反応するか考えながら選べます。そのほか、子どもたちに年中行事を分かりやすく説明するのに参考になる本を探したりもします。書庫にも自由に入ることができ、職員の方をお願いして出してもらわなくていいので、探しやすく、重宝しています。」

火曜日から金曜日の午後2時から5時は職員が在室し、自由にお入りいただけます。それ以外の時間帯でも、2階の総合案内カウンターでお申し出いただければ、貸出カードをお預かりして、お入りいただくことができます。

次に、グループで利用をされている皆さんの声です。

「小中学校の学校司書の集まりで団体利用しました。学校図書館の資料購入費の年間予算は平均20万~25万です。その予算を有効に使うには、選書がとても大切だと感じています。子ども図書研究室は、資料を一度に見ることができたので本当によかったです。でも、時間が足りませんでした。また個人的に来たいと思います。」

「図書館で読み聞かせボランティアをしています。子ども図書研究室には子どもの本が全部あると聞いて、行ってみようということになり、メンバーで来ました。市立図書館だと見られない本もありますが、ここには全部あって、これは読み聞かせには向かないんじゃないかなど、みんなで比較検討し、話し合いをしながら見られます。これからも定期的に利用したいです。」

子ども図書研究室の資料を利用して行う選書会等の会場としてご利用いただけるよう、団体

からの予約を受け付けています。団体利用については、貸出カードをお預けいただくことなく、ご利用いただけます。

市町立図書館へ本を取り寄せて利用されている方の声もご紹介します。

「図書館の児童サービス担当職員です。当館では、現物を見てから本を購入することができず、児童書、特に絵本の選書について悩んでいました。すべての絵本を購入して検討することは難しい中、子ども図書研究室の本を利用させていただくことを思いつきました。毎月、絵本を協力貸出していただき、複数の職員が目を選んだ本を当館の資料として購入することになっています。実際に目を通してから購入することができるようになり、とても助かっています。」

個人への貸出はしていませんが、県内の市町立図書館までは貸出することができます。お近くの市町立図書館へお申込みいただければ、その図書館の中でご覧いただくことができます。個人の方もご利用いただけます。

いかがでしょうか。これ以外にも、いろいろな利用方法があると思います。子どもの本を読むだけというご利用も歓迎しています。

また、この子ども図書研究室だよりや、ウェブページでの情報発信も行っています。当館で配信している「静岡県図書館情報メールマガジン」の「子ども読書情報」では、子どもの本に関する雑誌のうち、7タイトルについて、最新の目次情報をお知らせしています。

展示も随時入れ替えをしています。6月の展示は、「震災の本~東日本大震災に寄せて~」と「子ども図書研究室講演会関連図書」です。今後も「夏の課題図書」などの展示を行っていく予定です。リストはウェブページからご覧いただけますが、ぜひ子ども図書研究室へ足をお運びください。

皆様のご利用をお待ちしています。（鈴木）

*表紙画像はすべて出版社の許可を得て掲載しています。